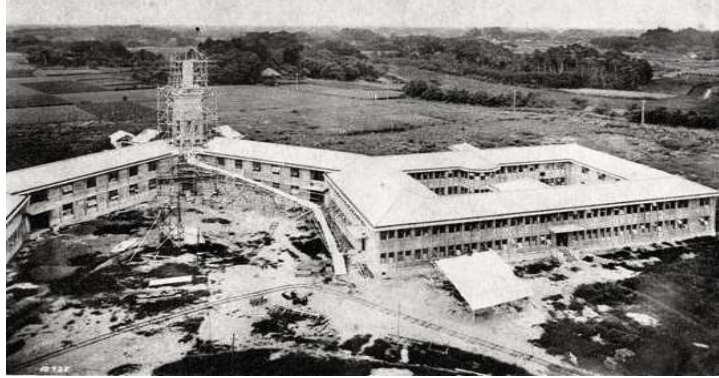


●緊急シンポジウム:東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を考える
——建学の志を伝える貴重な文化財を保存し、活かしていくために——



完成間近の東寮:1923.7.25 撮影
関東大震災 1923.9.1 を生き抜いた、キャンパスに最初に建てられた建築物

この夏公表の、東京女子大学創立90周年(2008年度)にむけたキャンパス整備計画によって、創立6年後の善福寺移転に伴い建設されたA.レーモンド建築群全9棟のうちの最初期の作品、東寮と体育館が解体されようとしております。その跡地に2つの新棟を建てるために。

これに対し、建学の精神を具現化した貴重な文化財ともいえる上記建物の保存・活用を求めて、ただちに同大の「卒業生有志の会」(当会の前身)、および「体育科卒業生の会(十一会)」等が大学理事会に再考の申し入れをしました。つづいて歴史的・建築的価値を惜しむ建築界の専門家集団や歴史建造物に関心の強い市民の方々も、それぞれの立場から大学および杉並区に保存要望書を提出し、保存を訴えております。国内のみならず、世界各地から、驚くほど多くの署名も届いております。

今回、できれば大学からもご参加いただき、多くの方々とともに理解を深め、解体に代わるよりよき方向を探りたいと考え、シンポジウムを開催いたします。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時:2006年12月2日(土)14:00 - 16:30

会場:日本外国特派員協会(FCCJ)

千代田区有楽町 1-7-1
有楽町電気ビル北館 20F

申込方法:事前申込不要(先着100名):無料

代表挨拶:藤原房子(ジャーナリスト/元寮生)

パネルディスカッション

パネリスト:永井路子(作家/元寮生)

時枝俊江(記録映画監督/元寮生)

藤岡洋保(東京工業大学:建築史)

西澤英和(京都大学:建築構造)

総合司会:兼松紘一郎(建築家/DOCOMOMO Japan 幹事長)

総括:山口廣(日本大学名誉教授)

主催:東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会

<http://homepage2.nifty.com/twcu-raymond/>

後援:(社)日本建築家協会 関東甲信越支部

DOCOMOMO Japan



・JR有楽町:日比谷口
・東京外口日比谷:A3出口

問合せ先:「東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会」事務局

【FAX 03-5474-8288 mailto:twcu-raymond@yahoogroups.jp】